

WINTER
スノボから缶蹴りまで！
スポーツを楽しもう



季節に応じた、いろいろなスポーツを楽しんでいるのが、シーズンスポーツサークル。「高校までできなかったスポーツをあれこれやってみよう！」「体を動かすことは好きだけど、特定の種目をやり込むのはちょっと…」という40人を超えるメンバーが、学部を問わず参加しています。スポーツの種類は、本当に多種多様。本格的な冬のスノボ合宿をはじめ、バレー、バスケット、サッカー、ソフトボール、時には懐かしいキックベースや缶蹴りをやることもあります。

メンバーをまとめているのは、教育学部2年の永考翼部長。高校までは野球一筋だったそうですが、「ほかのスポーツを自由に楽しみたい」とサークルの様子をのぞいてみると、楽しくて抜けられなくなったそうです。練習時間は、木曜日の19時から2時間。参加人数はバラバラなので、メンバーの顔ぶれを見て、その日の競技を決めています。心がけているのは、孤立する人を出さないこと。サークルに明確な上下関係はありませんが、先輩が後輩のサポートにまわるのが、代々の伝統。「自分も先輩にフォローしてもらった」という永考さんは、いつも全体に目を配り、溶け込めていない後輩を見つけると、さりげなく声をかけています。その思いはサークル全体で共有されているようで、メンバーにサークルの魅力を聞いてみると「すごく居心地がいい」「みんなが家族みたい」と、温かい雰囲気伝わってくる言葉が返ってきました。

さて、シーズンスポーツサークルには目標とする大会などはありませんが、最も活躍するのは香川大学祭です。賞品を目指して戦うスポーツ大会を主催・運営しているのです。ソフトボール、バスケット、バレーの3種目について、自由参加でチームを募集。トーナメントで優勝を争います。各種目の部活から参加する本命チームを、ほかのチームが倒せるかどうかが見どころのひとつで、それぞれ15チームほどが集まる人気企画。「善段、自分たちが心から楽しんでいますから、人を楽しませるコツはわかっています」。運営だけでなく、選抜メンバーが参加して優勝を狙っているというのも、シーズンスポーツサークルらしさかもしれません。

学部を超えた友だちができ、大学生活の幅が広がることも魅力のひとつ。気軽に参加できるので、ほかの部活と掛け持ちという人も少なくないそうです。体を動かすことと、みんなで楽しむことが好きな人にはぴったりのサークルです。



Season Sports Circle

シーズン★スポーツ★サークル



弓道で磨くのは
医の心と自分自身



香川大学医学部 白鷺弓道部

凜

とした立ち交から、ゆっくり弓を引いて狙いを定め、静けさの中で矢を射る。弓道の姿は男女を問わず美しく、見ている人を感動させる芸術性があります。

一方で弓道は、「決められた場所にある的に、矢を当てる」という、極めてシンプルな競技でもあります。対戦相手を研究し尽くすような戦略や、的の大きさ、置かれた場所が重要なわけでもありません。この単純とも言える弓道に人が惹かれるのは、目に見えない奥深い魅力。「自分自身との闘い」という、武道としての魅力があるからに他なりません。

医学部の白鷺弓道部は、50人のメンバーが集まる人気の部。週に2回の練習中、学部内の弓道場には静謐な空気が流れています。正しい方法、正しい心で矢を射なければ的に当たらないと言われる弓道。まずは型を覚え、流れるような所作を会得する中で、弓道に最も大切な集中力を養っていきます。「最初はゴムチューブが弓代わり、初心者は腕力を鍛えるところから始まるのですが、それがつらくて…」と皆が振り返るように、体方面での地道な訓練も欠かせません。ですが上達するほど、精神面での強さが結果を左右するという真実が到達するのが弓道の面白さ。そしてこの集中力や精神面の強さは、将来の医師や看護士にとって最も求められるものです。競技を通じて医療に必要な精神力が自分のものに

「個性的な50人ですから、練習の時よりも束ねるのが大変」と、吉村さんも笑うほどの仲の良さです。

「弓道は、大学に入ってから何か新しいことをやりたいという人におすすめです」と吉村さんは力説します。部員の大半は初心者で、吉村さんもその一人。気後れせず新しいことに挑戦できるのも白鷺弓道部の魅力と言えそうです。

現在の白鷺弓道部は、大会の結果が上り調子なのだそうです。昨年度の中四国大会では、女子の個人戦で見事、優勝しました。「今度は団体戦で結果を出そう！」をスローガンに、部全体が盛り上がりつつあります。最大の目標である、西日本医科大学総合体育大会での上位入賞を目指し、今日も弓道場には弓の音が響いています。



になる。そこに弓道部人気の秘密があるのかもしれません。

練習中は私語のない弓道部ですが「練習が終われば、ガフリとムードが変わりますよ」と、医学部3年の主将・吉村崇史さん。練習では集中しますが、弓道場を離れたら飲み会やイベントもめいっぱい楽しむ。